

令和3年度

芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	「MOUSA1」（教育芸術社）						
副教材等	「 New Recorder Library Basic Lesson & Ensemble 」 （教育出版）						

1. 担当者からのメッセージ(学習方法等)

音楽Ⅰでは、①楽譜の読み方②楽器の演奏(ギター・リコーダー)③歌唱(日本歌曲・イタリア歌曲)④鑑賞を行います。「うまく歌えるようになりたい」「楽器を演奏できるようになりたい」という目標を持って、取り組むことが効果的な学習方法です。継続して練習に取り組むことが必要です。様々な国の芸術に接する機会ですので、興味や関心を持って取り組んでください。

2. 学習の到達目標

鑑賞: 様々な国の楽曲を鑑賞することによって、他国ならびに自分の住んでいる国の芸術を尊重する態度を育成する。また、表現の違いを感じるだけでなく、楽曲の構造を学ぶ。
表現: 西洋音楽の基礎を学び、表現するために必要な技術を習得する。また、日本の伝統音楽に対する理解を深める。

3. 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 音楽への関心・意欲・態度	b: 音楽表現の創意工夫	c: 音楽表現の技能	d: 鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。
評 価 方 法	・取り組む姿勢 ・プレゼンテーション ・鑑賞シート ・ワークシート	・実技試験 ・グループワーク ・プレゼンテーション ・ワークシート	・実技試験 ・ワークシート	・実技試験 ・筆記試験 ・取り組む姿勢 ・鑑賞シート ・プレゼンテーション
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとく評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4. 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	・オリエンテーション ・校歌 ・ギター ・鑑賞 ・歌唱(独唱)	・授業についての説明と諸注意 ・校歌の歌唱 ・ギターのコード(4種類)とアルペジオを学習する。 ・鑑賞(6曲)を通じて、様々な国の楽曲に接する。 ・西洋歌曲の歌唱を通して、他国の表現とわが国の表現の違いを学ぶ。	○	○	○	○	a:音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。 c:創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。	実技試験 鑑賞シート ワークシート
2	・ギター ・鑑賞 ・歌唱(二重唱) ・楽典 ・音楽史 ・伝統芸能①	・ギター(TAB譜)を学習する。 ・鑑賞(6曲)を通じて、様々な国の楽曲に接する。 ・日本歌曲の歌唱を通して、正しい日本語の発音、発声法、言葉の意味、表現を学ぶ。 ・能・文楽について学習し、伝統芸能に触れる。	○	○	○	○	a:音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。 c:創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。	実技試験 鑑賞シート ワークシート
3	・器楽アンサンブル ・鑑賞 ・リズムアンサンブル	・器楽演奏を通して、アンサンブルを学習する。 ・鑑賞(3曲)を通じて、様々な国の楽曲に接し、違いを学び、尊重する姿勢を学ぶ。 ・リズムアンサンブルの学習を通して、リズム(声によるアンサンブルを含む)の体得と、アンサンブル活動・グループワークを学ぶ。	○	○	○	○	a:音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。 c:創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。	実技試験 鑑賞シート ワークシート

※ 表中の観点について a：音楽への関心・意欲・態度 b：音楽表現の創意工夫
c：音楽表現の技能 d：鑑賞の能力

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

- ・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。